

校内研担当からだよ！

～「つなぐ・つながる」～

1. 生徒の知識がつながる授業
2. 授業の中で生徒同士がつながっていく授業
3. 授業と評価をつなげていく授業
4. 授業と家庭学習をつなげる授業

平成31年度 愛川中学校
校内研究通信
第2号 7月2日(火)
発行者:校内研担当

○第一回校内研（7月4日（木））について○

①当日の係分担

日	グループ	担当	教科	クラス	インタビュー司会	インタビュー書記録	写真記録
検討 6/4(火)	A	會場先生	音楽	3年1組	関原先生	和出先生	君嶋先生
授業 7/4(木)	B	久古先生	数学	3年2組	野口先生	竹内先生	堀込先生

②研究協議の職員分担

今年度は研究協議を小グループ(以下)で行います。

グループ	協議司会	協議内容記録	メンバー
A	①佐藤	①平井先生	佐藤・和出・関原・萬木・平井
	②内笹井先生	②井上先生	會場・内笹井・君嶋・岩上・井上
B	①久古先生	①竹内先生	久古・本多・竹内・野口・堀込
	②馬場先生	②清水先生	馬場・清水・松本・山野・芝崎

*出張などの関係で以前お伝えした役割り分担から変更しています。ご確認をお願いします。

③今年度の研究協議について

今年度、研究協議のやり方（付箋に書くこと）を変更しました。

①今回の授業について(つなぐ・つながるに関すること)を**ピンクの付箋に**、授業の様子もふまえて、具体的にお書きください。

②今後の授業・研修に向けて生かしたい点について、**黄色の付箋に**お書きください。

授業を通して一人一人の授業改善を目標にして校内研を行っております。先生方におかれましては、「自分の授業にどのように生かせるか」「自分ならどんな方法で授業するか」といった視点でご参観いただければと思います。

研究協議では…

こちらの模造紙に付箋を貼っていき、協議をしていただきます。

事前にご確認をお願いします！

授業改善 校内研究テーマ「つなぐ・つながる」

対象学級	教科	授業者	本時の目標
3年 組			
授業を参観して			
知識がつながる場面(主体的場面)	生徒同士がつながる場面(協働的場面)	指導と評価がつながる場面	
今後の授業・研修に向けて生かしたい点			

* ピンクの付箋…つなぐ・つながるに関すること(授業を参観して)

黄色い付箋…今後の授業・研修に向けて生かしたい点・その他。

○生徒インタビューについて○

(校内研当日までにご確認をお願いします！)

①生徒インタビューを行う目的

生徒インタビューを行うことにより、授業を受けた生徒から「その授業で理解できたことは何か」、「その活動を行って感じて感じたことは何か」、「こんな授業を受けてみたい」など生きた声を聞くことができます。「生徒が授業の中で感じたことを知る」ことが授業改善につながります。普段、生徒達は授業に対する本音を言えずにいるかもしれません。私たちが、この生徒インタビューの中で生徒達の本音を言える環境をつくるのがとても大切です。そうすることで、生徒にとって「わかりやすい授業」に迫ることができるのではないかと考えます。

②生徒インタビューの内容

生徒インタビューにおける質問内容は生徒にとって「開かれた問い」になるように心がけます。生徒が思ったこと、感じたことを聞く場なので、私たちが普段考えている指導観で押し量ることなく、生徒の自由で伸びやかな答えに耳を傾けます。相づちやインタビューに参加してくれる生徒に感謝の言葉を伝えながら、笑顔で質問しましょう。

- 例) ・ 授業で先生が一番伝えたかったことは何だと思いますか。 ・ そう思った理由は？
- ・ 学習が理解しやすいのは、少人数、班、ペア、個人どんな場合ですか。
 - ・ 今日〇〇の場面で、どんなことを考えたか。 ・ 活動してどうでしたか。
 - ・ 自分から頑張ったことは何でしたか？ ・ 特に協力できたことは何でしたか？ など

③生徒インタビューの隊形

生徒がリラックスしてインタビューを受けるためには、机の配置を扇形にすることで、インタビューを受ける生徒同士がお互いの感想を聞きやすく、お互いの表情を見やすい環境をつくります。また、インタビューの前には生徒の自己紹介を含めアイスブレイキングを行います。

- 例) ・ (今日の授業者の) 先生は普段どんな先生ですか。
- ・ 先生の好きなところはどんなところですか。
 - ・ 今、自分が熱中していることは何ですか。
 - ・ 部活 ・ 好きな教科 ・ 嫌いな教科

